



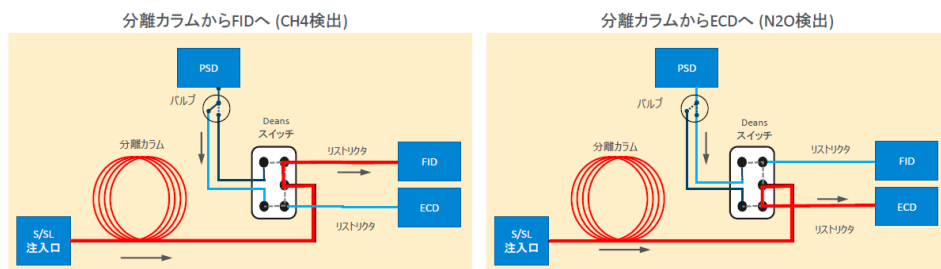
カーボンクレジット創出やカーボンオフセットに必要な温室効果ガス排出量評価のための、メタン（CH₄）および亜酸化窒素（N₂O）の高精度自動分析技術

【概要】

メタンと亜酸化窒素は二酸化炭素と比較して、それぞれ約25倍、約300倍と強い温室効果を持ち、日本国内では温室効果ガスの排出削減・吸収量を「J-クレジット」として国が認証し、取引を可能とする制度がある。メタンと亜酸化窒素は、農作物の栽培や家畜の飼育、廃棄物処理施設、医療施設などから排出され、以下の分析方法により把握できる。

【測定】

自動注入とスイッチング機能による高精度な自動同時分析が可能。



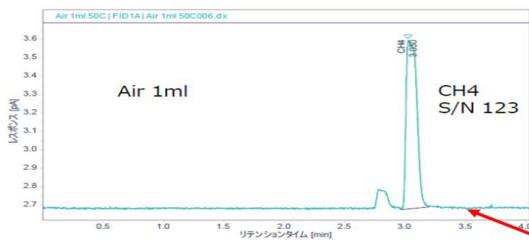
【測定事例】



分析装置(GC/micro-ECD)

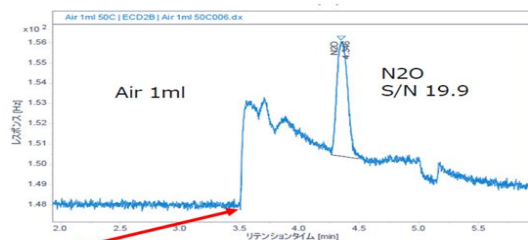


ガス捕集器材（バック、バイアル）



FID検出器

CH₄ : GC/FID (定量下限値 : 1ppm)



ECD検出器

N₂O : GC/micro-ECD(定量下限値 : 0.2ppm)

流路スイッチング

